

・復活後第二主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十二編」

いかに幸いなことでしょう

背きを赦され、罪を覆っていたいただいた者は、

いかに幸いなことでしょう

主に咎を数えられず、心に欺きのない人は、



神の前に正しいかどうか

ペトロは生まれつき足の不自由な人に「イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい」と、手を取り立ち上がらせました。彼はすぐ歩けるようになり、使徒たちと神殿の中へと入っていききました。その光景を見てユダヤ人たちは驚き、ペトロたちのところへ集まってきました。注目を浴びる中、ペトロは「あなたがたはイエスを十字架につけたが、神は死者の中から復活させた。彼を癒したのはイエス」と証しました。人々の注目を主に向けさせます。事実、彼を立ち上がらせたのはイエスです。主の証人として、神に召された使徒たち。二人は大勢の人々から大いに注目される中、イエス・キリストのみ、真実のみを証します。

使徒たちが福音を宣べ伝えていると、祭司らが二人を捕らえ、牢屋に入れました。翌日、民の指導者たち、主を十字架に追いやって殺した張本人たちが議會を開いて、尋問するのです。ペトロは大胆に答えます。「あなたがたが殺したイエスが、生まれつき足の萎えた人を立ち上がらせた。あなたがたが殺したイエスを神は復活させた。あなたがた捨てた石を、神は隅の親石とされた」と。

しかし彼らは相談の上、「決してイエスの名によって、教えるてはならない」と命じるのです。使徒たちは脅しに屈せず「神に従わないであなたがたに従うことが神の前に正しいかどうか、考えてください。私たちは見たこと、聞いたことを話さないわけにはいきません」と。

指導者たちはなおも二人を脅し、口止めします。イエスのこと、自らの悪事が民衆に知れ渡るのは不都合。民からの信頼や評価を失ってしまうと不安だったと思います。また二人に処罰を下したかったものの、この御業を知った民が神を賛美していたために釈放しました。二

人に手を下した時の、民の反応を恐れ、人を恐れていました。

生まれつき病、40年あまり、一度も立てなかった彼が立ち上がっている。神の業、神の力の現れ。イエスがなさったとの証。目の前の事実があるゆえに、否定できない。弁解の余地はありませんでした。しかし彼らは「神の前にこの上ない罪と悪を犯しました」と素直に悔い改めませんでした。また自らの振る舞いが「神の前に正しいのか」とかえりみません。彼らは神の前を生きるものではなく、人の前を生きるものでした。

反面、使徒は何が神の前に正しいことかと、かえりみています。いくら脅されても、恐れません。苦しめられ、嘲られても、神さまに従い、神の前を生ぎ抜かれた主イエスのように、使徒たちも神に従い、神の前に真実を大胆に宣べ伝えていくのです。

私たちは人の前ではなく、神の前を生きるもの生きるものです。人を目の前にしていても、常に神の前にいます。しかし人からの評価、評判などにとらわれて、人の前を生きていようと、常に人に目を向け、人を中心にし、自らの行いが神の前に正しいのかとかえり見ません。悪しきことをしていても、いま自分が何をしていのか気づきません。それこそ恐れるべきことです。

使徒たちの証を通して、主が人のためになしてくださったことが福音として届けられています。十字架の主の前に罪、過ちが知らされ、悔い改めるべきことに気付かされたら、素直に悔い改めていきたい。また何事でも神の前に良いのかとかえりみて、真実に生きていきたいと思えます。わたしたちはいつでも、どこにおいても、神さまの前を生きるものです。

2024年度

教 会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

《今日のお知らせ》

- 本日の礼拝後は、特別な集会はありません。
- 先週配布した主日予定表の中で教会暦の記載に誤りがありました。本日、改訂版を皆さまの状況に配布しました。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《礼拝伝道委員会より》

- 礼拝における感染対策について、四月以降の変更点をお知らせします。
- 礼拝中のマスク着用は任意といたします。
 - 掌典による手指の消毒は廃止といたします。
 - 座席の位置や間隔については、コロナ禍以前の体制といたします。

《役員会より》

四月二八日は四月教会総会です。昨年度の報告を聞き、各会計の決算を承認します。教会員の方はご出席ください。

《今後の予定》

- 四月二日 定例役員会
- 四月二八日 四月教会総会
- 五月五日 信仰者たちに学ぶ会

《ジュネーブ教会信仰問答》

第二聖日

問八 さてこれらの事柄を順序立てて述べ、詳しく説明するために、第一の点は何ですか。

答 われわれの信頼を神におくことであります。

問九 それはどうすればできますか。

答 まず、神を全能で至善なお方として知ることです。あります。

問一〇 それで十分ですか。

答 いいえ。

問一一 理由は。

答 われわれは、神がわれわれを助けるため、そのみ力をあらわされるにも値せず、われわれに向かつてその慈愛を示されるにも、値しないからであります。

問一二 では、さらに何が必要ですか。

答 神がわれわれを愛し、われわれのために父であり救い主であることを欲しておられることを、われわれが強く信ずることです。

問一三 どのようにして、われわれはそれを知ることができるか。

答 神の言葉によってであります。み言葉において神はわれわれに、イエス・キリストにある神のあわれみを宣言し、またわれわれに対する慈愛を確言なさるのであります。

問一四 それゆえ、神への真の信頼をもつ礎は、神をイエス・キリストにおいて知ることです。

答 その通りであります。

問一五 ではこの知識の内容を要約すればどうなりますか。

答 それは、すべてのキリスト者がする信仰告白に含まれており、一般に使徒信条と呼ばれているものであります。なぜならば、これはキリスト教徒の中に常に保たれ、そしてまた、使徒の純粹な教えから引き出された真の信仰の概要であるからであります。

問一六 その信条の言葉を暗誦してごらん下さい。

答 私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを裁きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。

《今日の子ども礼拝》

説教 「七の七十倍までもゆるしなさい」

聖書 マタイ18章21〜35節

説教者 宮間彰広 兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「よいサマリア人」

聖書 ルカ10章25〜37節

説教者 宮間彰広 兄

●主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌 148番 268番

説教 「何を惜しもうか」

聖書 ヨハネ12章1〜11節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 147番 228番
説教 「苦しみと慰めの共同体」
聖書 IIコリント1章3～7節(新約 P.325)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「キリストは死の鎖につながれしが」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 147番

1. よろこびたたえよ 主は死にうちかち
陰府よりかえりぬ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
2. 勝利の主むかえて たたえの花たば
みまえにささげよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
3. きょうよりときわに つきせぬいのちは
この世をうるおさん ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
4. いのちの主をほめ もろごえ あわせて
この日をたたえよ ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
アーメン

○ 讃美歌 228番

1. ガリラヤの風 かおるあたり
「あまつ御国は 近づけり」と
のたまいてより いく千歳ぞ
きたらせたまえ 主よ み国を
2. たたかいの日に いこいの夜に
みくにをしたう あつきいのり
ささげられし いく千度ぞ
きたらせたまえ 主よ み国を
3. 憎み あらそい あとを絶ちて
愛と平和は 四方にあふれ
みむねの成るは いずれの日ぞ
きたらせたまえ 主よ み国を

アーメン

聖餐曲「この世の波風さわぎ」 N.ローソン

後奏曲「フーガニ長調」 A.トールゲル

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。